



鳥羽市出身で「びわ湖ホール声楽アンサンブル」のメンバーとして活躍中のメゾソプラノ歌手、田中千佳子さんが11月2日、母校の鳥羽小学校で美しい歌声を子どもたちに届けました。

田中さんの「母校の子どもたちに聞いてほしい」との想いから実現したこの演奏会は、全校児童224名が集まった同小学校体育館で行われ、アメージンググレースなど全5曲が披露されました。

子どもたちは、田中さんの人柄と素晴らしい歌声に触れ、笑顔で目を輝かせていました。

母校で美しい歌声を披露



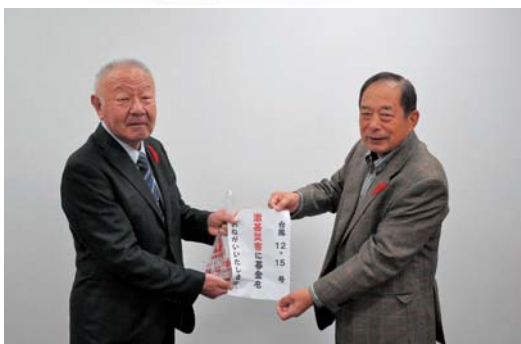
10月にパールロード鳥羽展望台で開催された「伊勢エビ解禁おおきんなまつり in 南鳥羽」で、県立鳥羽高校の生徒が、20・21日の両日、会場で用意された手作りクッキーやアオサ味噌汁の販売活動を行いました。

この活動での売上金と11月に行われた同校文化祭の模擬店の売り上げの一部と合わせて、9月の台風12号で甚大な被害を受けた御浜町の県立紀南高校の生徒会に義援金として送られます。

販売活動では2日間で23人の生徒が参加し、展望台を訪れた観光客に対して積極的に声掛けをする生徒もおり、販売促進に一役買いました。

紀南高校支援のためにがんばるぞ

まちの話題 1月号



11月10日、安楽島町内会長の傍島寛さんが市社会福祉協議会を訪れ、台風12号の被災地を支援するためにあらしま朝市の会場で集められた義援金を寄付しました。

11月6日に安楽島公民館前で町民文化祭の出し物として開催されたあらしま朝市の会場で募金活動が行われました。短い開催時間の中でたくさんのかたが募金してくれたそうです。

※あらしま朝市（主催：あらしま新鮮組。通常は毎月第2・4日曜日に安楽島漁協前で開催）

朝市からも被災地を支援したい



本年7月1日に本市と友好都市提携を結んだ兵庫県三田市の三田太鼓が11月3日、市民文化会館で開催された第36回市民文化祭で特別公演を行いました。

海外公演の経歴を持つ三田太鼓の勇壮な演奏に観客は手拍子で応え、会場は大いに盛り上がりました。

公演に同行した三田市の担当のかたは「観客席で来場者にバチを渡し、一緒に演奏するパフォーマンスは当初の予定になく驚いた」そうで、帰りの車中、三田太鼓のみなさんが「鳥羽市のみなさんの暖かい声援で、思い切り良い公演ができた」と語っていたと伝えてくれました。

三田太鼓が迫力の演奏